

「教員が子どもと向き合える教育環境の整備について（コグトレ）」
 ～北九州ステップアップメソッド（コグトレ）～

1 コグトレ（コグニティブ・トレーニング）の概要

対人スキルの向上（社会面）、基礎学力の土台づくり（学習面）、不器用さの改善（身体面）の3方面から、子どもたちへの支援を行うもの

2 事業内容

- 学級全体で取り組むことができるプログラムとして位置付け、学びの内容や方法について共有・共感する気持ちを高め、多様性の理解を進める。
- 実践協力校6校を中心に3年間の研究を推進し、コグトレを用いた本市独自のメソッドを完成し、本市の学校に広める。

3 関係機関

- 北九州市教育委員会 コグトレプロジェクトチーム
- 広島大学研究チーム 代表者 ^{みやぐちひてき} 宮口英樹教授
- 実践協力校6校 小学校(田野浦、城野、木屋瀬、竹末)
中学校(早鞆、菊陵)

4 研究期間

令和3年4月1日から令和6年3月31日まで（3年間）

5 成果

- 市内の学校におけるコグトレ実施状況の広がり
- 本市独自のアセスメントシートの完成
- コグトレ活用に係る資料及びコンテンツの充実



<コグトレ活用ハンドブック>

6 研究終了後の方向性

- ① 教育センターによるコグトレ研修の継続
- ② 学校力向上支援訪問を活用した支援の継続
- ③ コグトレ活用研究推進部会による支援の継続



持続可能な北九州市独自の教育支援モデルの実現へ

誰一人取り残さない

北九州ステップアップメソッド (コグトレ)



1

コグトレとは

取組の紹介

成果物紹介

今後の方向性

流れ

1. コグトレとは
2. 取組の紹介
3. 成果物紹介
4. 今後の方向性



※ 発表資料の個人を特定できる画像等は、全て本人の了承を得ています。

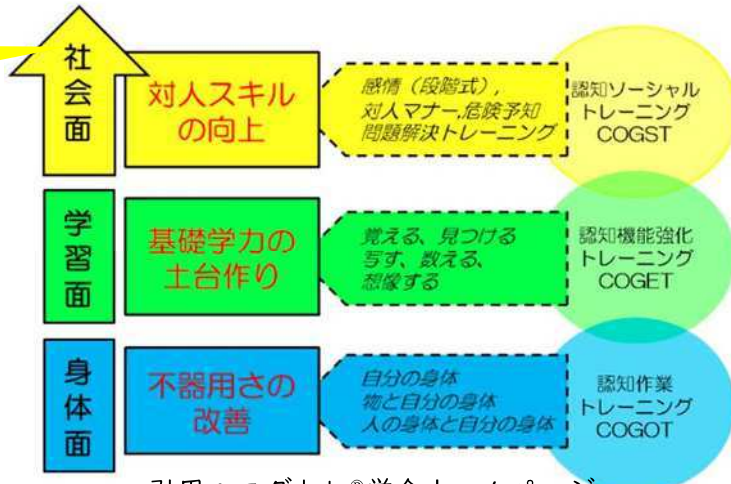
2

(1) コグトレの構成

注意、記憶、言語理解、知覚、推論・判断

コグトレ (Cog-Tr) とは、認知機能の向上を目指すトレーニングです。「社会面」「学習面」「身体面」の3方面で構成されています。

子どもの困り感



引用: コグトレ®学会ホームページ
URL: <https://cog-tr.net/cogtr/>

(2) 学習の土台となる力と教科の関連性

例えば…



「今から黒板に算数の問題を5問書きますから、ノートに写して、解いてください。まず…」

指示や話を
聞く力

聞き取ったことを
覚える力

問題を正確に
写す力

問題を解く力

(2) 学習の土台となる力と教科の関連性

各教科

国語

社会

算数
数学

理科

英語

指示や話を
聞く力

数を正確に
数える力

登場人物の気持ちを
想像する力

共通点や相違点を
見つける力

聞き取ったことを
覚える力

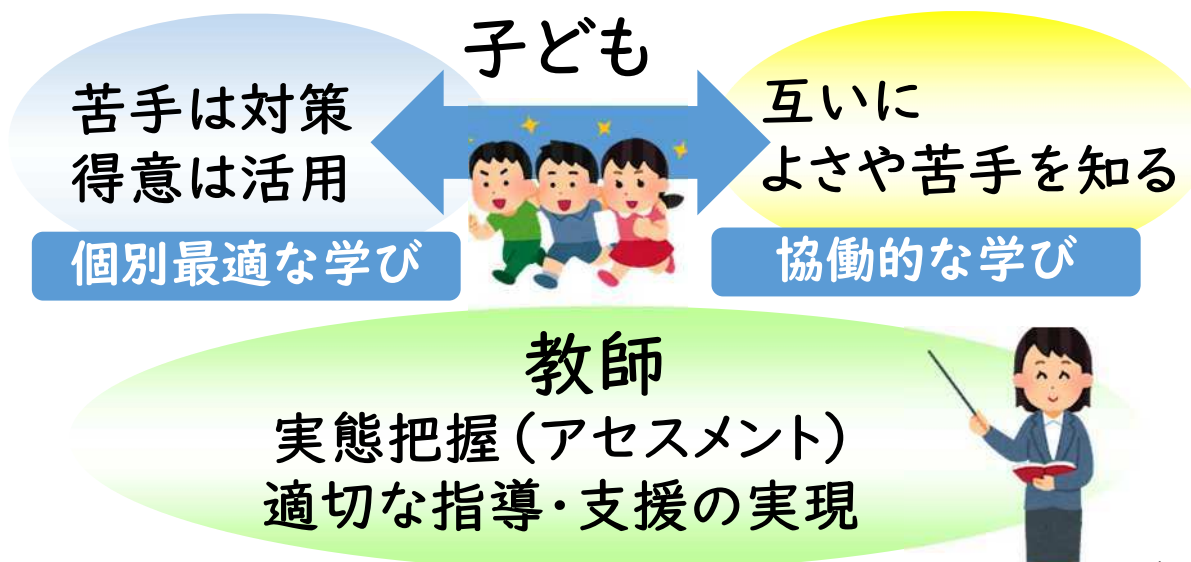
文字や図を正確に
写す力

授業の中で活用する力(例)

(1) 北九州市ステップアップメソッド(コグトレ)

特徴

コグトレをツールとして**集団**へもアプローチ



(2) 動画コンテンツ

おしえて!
コグトレ博士

学習面
「何が一番？」

動画の流れ

- Chapter1 指導主事による模擬実践
- Chapter2 実践協力校の様子【菊陵中学校】
- Chapter3 宮口英樹教授による解説

7

(3) サポート体制について

教育委員会 プロジェクトチーム

プロジェクト会議



**コンテンツ・
ハンドブック作成**

実践協力校訪問



学校力向上支援訪問



8